



interview

静岡不動産流通活性化協議会専務

牛田 久さん

首都圏からの移住者にとって、
中古住宅も選択肢のひとつ

県

内の不動産業界団体や金融機関など21団体が連携して中古住宅市場の活性化を目指す「静岡不動産流通活性化協議会(以下協議会)」は、県、市と協力し、平成26〜27年にかけて空き家を活用した中古住宅の流通を促すモデル事業として、光ケ丘団地の調査を実施しました。

首都圏居住者アンケート調査

「初年度は、光ケ丘団地内の空き家

住宅の健康診断

「中古住宅の流通の活性化を目指す我々が注目しているのは、三島市が平成27年から先進的に取り組んでいる既存住宅のインスペクションです。これは、住宅の健康診断とも言えるもので、無償で市が専門家を派遣し、売却する住宅の劣化状況などを調査するものです。調査・診断済みの物件は、市が運営する中古住宅情報サイトで紹介されます。

このウェブサイトの掲載物件はインスペクションの実施により、シロアリ被害や給排水管の状況など、隠れた部分も含め、不具合が明らかになっているので、後々のトラブルが回避され安心です。

首都圏などからの若い移住者が初めて住宅を取得する場合、中古住宅であれば、一般的に建物価格が低く抑えられる分、新築物件よりもハードルが下がる可能性があります。

中古物件と言っても、決して安い買い物ではありません。三島市の場合、インスペクション済みの物件を選ぶことで、補修・修繕の必要性が明らかになり、リフォーム費用も含めた取得費用の総額が分かるので、より納得感のある買い物ができるのではないのでしょうか

移住、住宅の取得を
資金面でもサポート!

住宅ローン「フラット35」の金利優遇
※市の移住・リフォーム補助金利用の場合
(補助金についてはお問合せください)

「静岡ろうきん」住宅ローンの金利優遇
※最高1,000万円までの利子補給制度
問静岡県労働金庫三島支店 ☎ 973・9111



「住むなら三島
中古住宅情報サイト」では、
インスペクション済みの物件を紹介!!

